

9月定例会 平成19年度 決算を認定

9月17日、本会議において、3委員長報告を受けて、一般会計・各特別会計・公営企業局会計の審議・採決を行い、それぞれ原案の通り可決した。

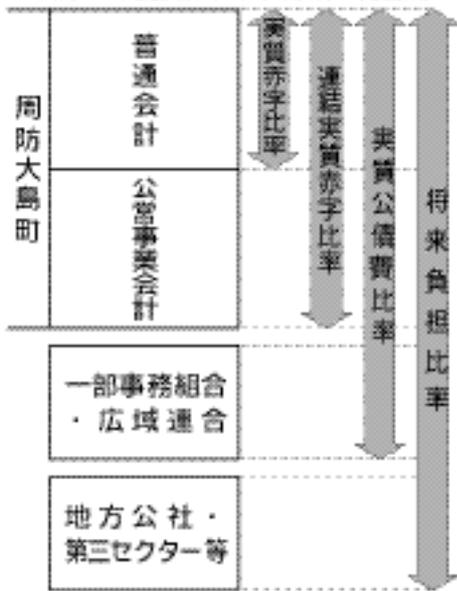
一般会計 歳入 150億8,007万3千円
 歳出 147億5,904万5千円
 (翌年度に繰り越すべき財源1,109万9千円)
 実質収支額 3億 992万9千円の黒字

*** 平成19年度の財政分析指標 ***

財政力指標(単年度)	21.8%	起債制限比率	15.5%
実質収支比率	3.2%	公債費負担比率	25.1%
経常収支比率	99.2%	実質公債費比率	21.0%(3カ年平均)
公債費比率	18.1%	(特別会計を含む)	20.9%(単年度)

周防大島町の財政健全化判断比率

※平成19年度決算より、財政の健全化の指標として公表されることとなった



実質赤字比率 -
 連結実質赤字比率 -
 実質公債費比率 21.0%
 将来負担比率 187.6%



平成19年度の本町は、一般会計の実質赤字・すべての会計の実質赤字はともに対象外(黒字)であり、実質赤字比率・連結実質赤字比率は数値化されない。実質公債費比率(21%)は、早期健全化基準25%以下である。また、将来負担比率(187.6%)も、同基準350%以下である。将来負担比率では、町の財政規模が約100億円の本町において、町関係の全ての起債の約50%が交付税措置されているので、この比率の約2倍の額が現在の起債の総額と推測できる。なお、それぞれの数値が悪化するにつれ、財政の早期健全化→財政の再生へと移行することとなる。

各基金の増減

(単位:千円)

	H19.5末現在高	増減高	H20.5末現在高		H19.5末現在高	増減高	H20.5末現在高			
財政調整基金	12億2,300万2	8,772万1	13億1,072万3	ふるさと創生基金	6,704万7	20万9	6,725万6			
減債基金	1億9,683万4	2,953万2	1億6,730万2	土地開発基金 (土地) (現金) 合計	733万	8,321万4	9,054万4			
県収入証紙購入基金	300万	0	300万					9,280万5	8,292万4	988万1
奨学資金貸付基金	4,226万7	10万5	4,237万2					1億13万5	29万	1億42万5
福祉振興基金	3億2,734万4	4,897万8	2億7,836万6	中山間ふるさと水と土保全基金	3,113万1	0	3,113万1			
国民健康保険基金	5,139万	8,016万	1億3,155万	ちびっこ医療助成事業基金		4,937万7	4,937万7			
介護給付費準備基金	1億240万3	780万7	9,459万6							